

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社会（公民的分野）

令和 6 年 7 月

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。 (2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、現代社会の見方・考え方を働かせて「みんなでチャレンジ」などで追究をし、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題を捉え見通す導入ページ、追究する本時ページ、捉えなおし深める特設ページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通し・振り返ることができるような工夫が見られる。 (2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料を読み取り考察する「LOOK!」や「THINK!」で課題を追究し、最後に学習内容の定着を図る「確認!」「表現!」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は章・節・見開きごとに問いと振り返りを設け、学習した内容を積み重ねながら、章の問いを追究していくことができるような工夫が見られる。 (2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、対話を通して学びを深める「アクティブ公民」などで課題を追究し、重要事項の確認と表現力等の育成する「確認しよう」や「説明しよう」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日 文	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、問いを解決し学びをまとめ・ふり返るページとなっており、「見方・考え方」を働かせて課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。 (2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティー」コーナーなどで課題を追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」「表現」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

225 自由社	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、学習のまとめと発展のページとなっており、毎時間の学習内容について章末で重要語句を確認し、定着させる学習活動ができるような工夫が見られる。 (2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、図表や写真「ミニ知識」などの資料で課題を追究し、最後に、「ここがポイント」コーナーで毎時間の学習内容の振り返りに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
---------	---

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、生徒自身が探究課題をつかめるよう、各章の「導入の活動」や個人作業とグループ活動の相互作用で多面的・多角的に学びを深める「探究課題を解決しよう」を設けるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、公民の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けることができる「スキル・アップ」や重要な用語を解説した「もっと解説」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「くらげチャート」や「ツールミン図式」を活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりするページを設けるなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」を設けるなどの工夫が見られる。
17 教 出	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入ページの「ウォーミングアップ公民」で生活体験から単元を貫く課題を捉えさせたり、「公民の技！」で自己内対話やグループ活動で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、本文内容から視野を広げることのできるコラム「公民の窓」や、資料の読み取りの視点を養うための「Q」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、手がかりをもとに資料を読み取り、考察させる「STEP！」や社会参画をテーマとした「TRY！」を設けるなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「持続可能な社会に向けて」で持続可能な未来を意識させたり、巻末の「私の提案」で実社会の課題と向き合い探究させたりするなどの工夫が見られる。

46 帝 国	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各部の学習の初めにイラストで社会の様々な場면을概観する活動から学習の見通しをもたせたり、他者とのやり取りから思考を深める「対話アイコン」を設けたりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、実践的な知識・技能を習得する「18歳への準備」やロールプレイングなどの技術を習得できる、「技能をみがく」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「トゥールミン図式」などの思考ツールや図などを用いて学習の整理と確認を行う「学習を振り返ろう」を設けるなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻頭で持続可能な社会の実現に向けた意識を育ませたり、「未来に向けて」で未来の社会をつくる取組を確認できたりするなどの工夫が見られる。
116 日 文	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、すべての本文ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」が示されたり、イラストをふまえて協働的な学びを行う「学び合い」アイコンを設けたりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、学習に関する事項について理解を深める「公民＋α」や、章末に学習内容を確認する「まとめとふり返し」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻末に「思考ツールを使ってみよう」を設けて、収集した情報についてまとめたり、深めたりするなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「SDGsマーク」を用いて持続可能な開発目標との関連を図ったり「明日に向かって」でより良い社会参画を促したりするなどの工夫が見られる。

225 自由社	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元において、自分たちの生活に身近な題材を取り上げたり、学んだことをもとに協働して思考したりすることができるような「アクティブに深めよう」を設けるなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、既習事項を文章で表現して知識の確認をする「学習のまとめ」や、単元に関連する内容を示した「もっと知りたい」を設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学んだことを活用して、自分の考えをまとめたり、ディベートしたりする「課題の探求」を巻末に設けるなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「日本人の価値観・感性」からSDGsについて考えたり「やってみよう」で身近な事象と学習内容の関連を図ったりするなどの工夫が見られる。
---------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習効果や使用上の利便性については、導入・展開・まとめの学習段階に応じた最適な「QRコンテンツ」を活用し、動画視聴や資料の画像拡大など学びをサポートしたり深めたりするための工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入からまとめまでの学習の流れがわかりやすくデザインされており、学習のまとめでは思考ツールを使って自分の思考を整理し、課題解決につなげる工夫が見られる。
17 教 出	(1) 学習効果や使用上の利便性については、教科書の中にある二次元コードを読み取り、動画やクイズなどの各種コンテンツにアクセスして、役立つ情報を活用し、学習効果を上げる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各章を見通す導入ページや学習を振り返るページを設けて、課題を捉え、見通しを立てやすくすることで、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 学習効果や使用上の利便性については、生徒の個別最適な学びを支援する「QRコンテンツ」が各所に掲載され、関連するコンテンツを活用しながら、生徒が自ら学習内容を定着、深めるための工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、章や単元に鮮明で読み取りやすい大判イラストや学習と直結する躍動感のある導入資料を多く用いて、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。
116 日 文	(1) 学習効果や使用上の利便性については、「QRコンテンツ」からアクセスできる様々なコンテンツがあり、タブレットマークを設けて、「動画」などコンテンツの種類が分かるように文字を入れる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成であり、新しい事例や、生徒が身近に考えられる事例を取りあげるなどの工夫が見られる。

225 自由社	(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文の近くに本文の内容を補う詳しい解説文が掲載されていたり、各単元の重要語句はゴシック(太字)で示し、すべて巻末の「さくいん」に掲載したりする工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストとともに章のタイトルや導入となるコメントを掲載したり、単元の最後に授業でおさえるべき重要な確認事項をまとめたりするなどの工夫が見られる。
---------	---

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 地域と連携した学習内容として、「もっと知りたい」の中で、取組の事例をもとに自分たちの地域課題を自分ごととして捉えられるよう設定されており、生徒が地域住民と協力し課題を解決して学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着については、単元のまとめの「ワードチェック」で、一つ一つのワードにページの記載があり、まとめを通して知識の確認がコンパクトに行えるように配置されている。また、QRコードのデジタルコンテンツも豊富なため、学校や家庭、そして個人の学びを支えるなどの習熟が図られるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) 地域と連携した学習内容として、「持続可能な社会に向けて」の中で、地域の課題解決や当事者の声を聴く場が設定されており、生徒が地域住民と現状を理解して学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着については、授業ごとに追究課題が提示され、学習内容の「確認」を活用し、自分で表現することができるよう配置されている。また、「単元のまとめと表現」では、学習内容を活用し、現代社会が抱える課題を追究するために、実際にできることの考えを深めさせるなどの習熟が図られるような工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 地域と連携した学習内容として、「アクティブ公民」の中で、地域に関わるパフォーマンス課題の設定や既習事項との関連が設定されており、生徒が地域住民と新たな社会を創造して学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着については、架空の都市を題材にした大判イラストを用いた「学習の前に」から、「学習を振り返ろう」まで一貫性が見られ、学習の見通しと振り返りがしやすくなるよう単元が配置されている。また、「重要語句」を用いながら図や思考ツールでまとめるなどの習熟が図られるような工夫が見られる。
116 日 文	(1) 地域と連携した学習内容として、「明日に向かって」の中で、地域の課題発見からまとめまでの流れや様々な視点での考察が設定されており、生徒が地域住民と社会参画して学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着については、毎授業、何を学ぶのかを「学習課題」で明確にし、「見方・考え方」を働かせて学ぶことができるように配置されている。また、「まとめとふり返し」でも、ニュースから「見方・考え方」を用いて、見開き1ページにまとめられ

	るような習熟への工夫が見られる。
225 自由社	(1) 地域と連携した学習内容として、「アクティブに深めよう」の中で、地域の関係事項を図式化したり価値を客観視したりする内容が設定されており、生徒が地域住民と地域活性化の学習をして学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着については、授業ごとに必要最小限の資料と「ミニ知識」、「ここがポイント！」など語句解説のみで情報量を整理されている。「学習のまとめと発展」ではフォントが大きく、文字数も少なく各小単元の重要語句を厳選しまとめているので習熟を図ることができるような工夫が見られる。